

*131st
Business Report*

第131期 年次報告書 (平成19年12月1日～平成20年11月30日)



HOTEL NEW GRAND

株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。素人は格別のご配慮ご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。ここに当社第131期（平成19年12月1日から平成20年11月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当年度の経済環境を振り返りますと、米国発の未曾有の金融危機は一層深刻の度合いを深め、世界各国の実体経済にも多大な影響を及ぼしており、今や世界経済は同時不況の様相を呈しております。日本経済におきましてもこれまで牽引してきた輸出の増勢が純化し、これにともなう企業の設備投資の大幅減と相まって、景気後退局面に入ったことが確実な状況となりました。一方、個人消費は底堅いとみられてきましたが、食料品などにかかわる物価の高止まりや、株価下落などにより、消費者マインドの冷え込みが顕著で、内外需要とも牽引材料が全く見当たらない状況にあります。

当ホテル業界におきましても、経済情勢の先行き不透明感の高まりとともに景気後退の影響が顕著に表れ始めました。

こうした環境ではありますが、当社は防災設備、電話交換設備の更新など、また、営業面におきましても宴会諸室の改修等、事業基盤への設備投資を積極的に行った結果、売上は宴会部門の好調に支えられ、前事業年度を若干なが

ら上回ることが出来ました。また、利益面では改修費用の減少や原価の低減などによる利益率の向上に努めた結果、黒字を達成することが出来ました。

当事業年度の売上高は57億77百万円（前事業年度比2.3%増）、営業利益は1億73百万円（同29.5%増）、経常利益は1億60百万円（同32.3%増）であり、当期純損益につきましては、前事業年度は役員退職慰労金及び同引当金による特別損失の計上により83百万円の純損失でありましたが、当事業年度は73百万円（同1億57百万円増）の純利益となりました。



代表取締役会長 原 範行

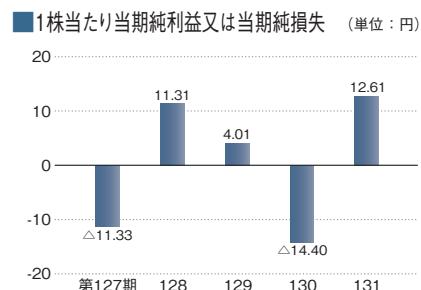
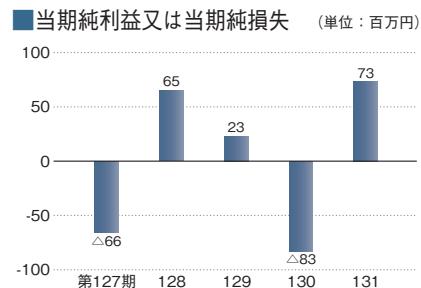
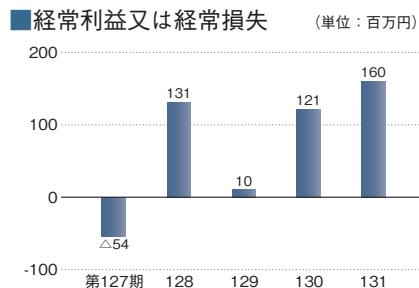


代表取締役社長 松崎 広



財務ハイライト

Financial Highlights



区 分	第127期 (平成16年11月期)	第128期 (平成17年11月期)	第129期 (平成18年11月期)	第130期 (平成19年11月期)	第131期 (平成20年11月期)
売上高(百万円)	5,085	5,316	5,306	5,649	5,777
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	△ 54	131	10	121	160
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△ 66	65	23	△ 83	73
純資産(百万円)	8,475	8,482	8,448	8,141	8,159
総資産(百万円)	12,400	12,400	12,074	12,389	12,111
1株当たり純資産額(円)	1,451.79	1,454.65	1,449.57	1,398.26	1,402.36
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)(円)	△ 11.33	11.31	4.01	△ 14.40	12.61
自己資本比率(%)	68.3	68.4	70.0	65.7	67.4
自己資本当期純利益率(%)	△ 0.8	0.8	0.3	△ 1.0	0.9



事業別概要と今後の課題



Business Review



■宿泊部門

客室単価は、前事業年度を上回ったものの、稼働率が下回り、売上高は12億84百万円（前事業年度比2.0%減）となりました。

■宴会部門

婚礼件数及び一般宴会の件数とも前事業年度を上回り、売上高は25億61百万円（同6.1%増）となりました。

■食事部門

レストランウエディングの件数が前事業年度を下回りましたが、売上高は堅調を維持し15億18百万円（同1.0%増）となりました。

この結果、ホテル部門の売上高は55億39百万円（同2.5%増）となりました。また、支店である高島屋ホテルニューグランド ザ・カフェ、そごう横浜店 バー シーガーディアンⅢ及び賃貸ビルのグランドアネックス水町（テナントビル）はそれぞれ僅かながら減収となりました。

部門 区 別		売上高	構成比
		千円	%
ホテル	宿泊部門	1,284,941	22.3
	宴会部門	2,561,308	44.3
	食事部門	1,518,353	26.3
	その他の部門	174,646	3.0
ホテル部門合計		5,539,249	95.9
支 店	高島屋ホテルニューグランド ザ・カフェ	114,028	2.0
	そごう横浜店 バーシーガーディアンⅢ	64,359	1.1
	賃貸ビル	59,941	1.0
合 計		5,777,578	100.0

■設備投資の状況

当事業年度は総額2億22百万円（うち、資産の取得は1億87百万円）の設備投資を行いました。設備投資の主なものは、防災センター防災設備の更新（75百万円）、本館4階宴会諸室の改修（41百万円）、電話交換設備の更新（26百万円）などです。

■対処すべき課題

今後の経済環境を展望いたしますと、米国のサブプライムローン問題を背景とした世界的な金融の不透明感が強まり、米国景気の減速と金融市場の混乱による株安や円高の進行の影響により、輸出を中心とした国内産業の企業収益の悪化、さらに個人消費が低速し雇用情勢にも厳しさがみられ、国内景気の停滞は一層強まるものとみられます。

このような環境のなか、当社は創立80周年にあたる一昨年度から新中期経営計画をスタートさせ、今年度はその最終年度にあたります。この計画では、「積極的投資と収益力の安定」、「ブランド力の強化」、「活性化した組織作り」の3つを重点課題としております。引続きこれらの課題解決に積極的に取り組むことにより、お客様に安らぎのある空間と、高品質なサービス商品を提供し、横浜を代表するホテルとしての地位を確固たるものとすべく努力していきたくと考えております。

何卒株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



個別貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2008.11.30	前事業年度 2007.11.30
(資産の部)		
流動資産	1,134,312	1,087,731
現金及び預金	718,761	693,930
売掛金	277,807	261,238
料飲材料	34,199	33,460
貯蔵品	41,561	24,903
前払費用	21,674	24,394
繰延税金資産	31,336	22,499
その他	9,551	27,493
貸倒引当金	△580	△190
固定資産	10,975,703	11,300,113
有形固定資産	10,718,374	11,004,828
建物	6,313,475	6,487,339
建物附属設備	908,356	958,044
構築物	38,086	42,702
機械及び装置	63,017	71,079
車両運搬具	6,806	6,769
器具及び備品	412,786	459,334
土地	2,975,845	2,979,559
無形固定資産	60,815	59,768
借地権	42,961	42,961
その他	17,853	16,807
投資その他の資産	196,513	235,515
投資有価証券	140,218	179,883
差入保証金	12,800	12,784
保険積立金	40,363	42,847
長期前払費用	3,131	—
繰延資産	1,000	1,800
社債発行費	1,000	1,800
資産合計	12,111,016	12,389,644

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2008.11.30	前事業年度 2007.11.30
(負債の部)		
流動負債	1,942,095	2,075,288
買掛金	462,411	444,818
短期借入金	550,000	550,000
一年以内に償還する社債	96,000	96,000
一年以内に返済する長期借入金	67,000	177,000
未払金	156,847	210,549
未払消費税等	39,324	7,173
未払法人税等	106,300	53,900
未払事業所税	15,971	15,890
未払費用	283,803	317,731
前受金	149,091	194,701
預り金	15,138	7,524
その他	206	—
固定負債	2,009,698	2,173,312
社債	60,000	156,000
長期借入金	32,500	99,500
金利スワップ	—	66
長期未払金	3,944	3,944
預り保証金	290,900	294,506
退職給付引当金	620,349	573,025
役員退職慰労引当金	109,768	98,749
繰延税金負債	223,531	278,816
再評価に係る繰延税金負債	668,704	668,704
負債合計	3,951,793	4,248,601
(純資産の部)		
株主資本	7,749,112	7,708,053
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
資本準備金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	951,201	907,712
利益準備金	66,144	66,144
その他利益剰余金	885,057	841,568
買換資産圧縮積立金	746,101	775,253
繰越利益剰余金	138,956	66,315
自己株式	△20,098	△17,669
評価・換算差額等	410,109	432,989
その他有価証券評価差額金	△21,988	1,673
土地再評価差額金	432,098	431,316
純資産合計	8,159,222	8,141,042
負債・純資産合計	12,111,016	12,389,644

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

Financial Statements



損益計算書 (要旨)

科 目	(単位：千円)	
	当事業年度 2007.12.1～ 2008.11.30	前事業年度 2006.12.1～ 2007.11.30
売上高	5,777,578	5,649,355
売上原価	1,856,268	1,797,626
売上総利益	3,921,310	3,851,729
販売費及び一般管理費	3,747,482	3,717,480
営業利益	173,828	134,248
営業外収益	4,190	4,156
営業外費用	17,279	16,932
経常利益	160,738	121,472
特別利益	—	2,373
特別損失	17,151	181,195
税引前当期純利益又は純損失 (△)	143,587	△57,348
法人税、住民税及び事業税	118,154	45,413
法人税等調整額	△47,949	△18,864
当期純利益又は純損失 (△)	73,382	△83,897

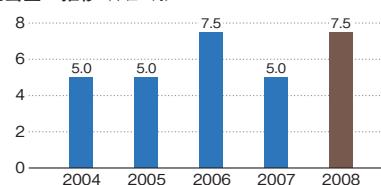
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■配当金について

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつに位置づけております。このため長期にわたる安定的配当の継続を基本方針とし、節目においては記念配当を実施するなど利益の還元に努めてまいります。

また財務体質のより一層の強化のため、内部留保の充実に努める一方で、施設・設備の充実等将来のための有効投資もしてまいります。

配当金の推移 (単位：円)



株主資本等変動計算書 当事業年度 2007.12.1～2008.11.30

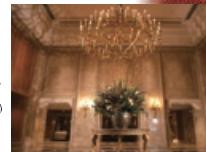
	株 主 資 本							評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	土 地 再評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計		
		資 本 準備金	資 本 剰余金 合計	利 益 準備金	買 換 資 産 圧縮積立金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰越利益 剰余金							利 益 剰余金 合計
平成19年11月30日 残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	775,253	66,315	907,712	△17,669	7,708,053	1,673	431,316	432,989	8,141,042
事業年度中の変動額													
剰余金の配当						△29,111	△29,111		△29,111				△29,111
当期純利益						73,382	73,382		73,382				73,382
任意積立金の取崩					△29,151	29,151	—		—				—
土地再評価差額金取崩						△781	△781		△781				△781
自己株式の取得								△2,429	△2,429				△2,429
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)										△23,661	781	△22,880	△22,880
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△29,151	72,641	43,489	△2,429	41,059	△23,661	781	△22,880	18,179
平成20年11月30日 残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	746,101	138,956	951,201	△20,098	7,749,112	△21,988	432,098	410,109	8,159,222

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



株式の状況/会社概要

Stock Information/Corporate Data



株式の状況 (2008年11月30日現在)

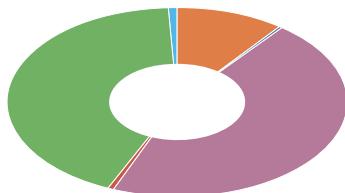
① 発行可能株式総数	23,000,000株
② 発行済株式の総数	5,856,400株
③ 株主数	776名
④ 大株主(上位10名)	

株主名	持株数	出資比率
原 範行	431千株	7.41%
榊原三郎	322	5.53
株式会社横浜銀行	285	4.90
清水建設株式会社	235	4.04
東日本旅客鉄道株式会社	219	3.76
野村弘光	216	3.72
麒麟麦酒株式会社	165	2.84
上野興産株式会社	164	2.82
セコム株式会社	160	2.75
株式会社高島屋	145	2.49

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は自己株式(38,186株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

■金融機関	6名	605千株	10.35%
■証券会社	6名	7千株	0.13%
■その他の法人	89名	2,681千株	45.78%
■外国法人等	5名	34千株	0.59%
■個人・その他	669名	2,489千株	42.50%
■自己株式	1名	38千株	0.65%



会社の概況 (2008年11月30日現在)

創 立	1926年7月6日
創 業	1927年12月1日
資 本 金	34億5,500万円
主な事業内容	ホテル経営
従 業 員 数	294名(うち正社員外123名)

取締役及び監査役の状況 (2008年11月30日現在)

代表取締役会長	原 範 行
代表取締役社長	松 崎 広
常 務 取 締 役	吉 田 一 継 (営業部門統括 総支配人)
常 務 取 締 役	里 見 辰 彦 (管理部門統括)
取 締 役	野 村 弘 光
取 締 役	上 野 孝
取 締 役	佐々木 信 幸
取 締 役	西 川 律 夫
取 締 役	宇佐神 茂 (総料理長)
取 締 役	佐 野 剛 (執行役員宴会部長)
取 締 役	岸 晴 記 (経理部長)
常 勤 監 査 役	小 島 偉 義
監 査 役	勝 治 信
監 査 役	野 村 哲 也
監 査 役	卯之木 昭

(注) 1. 取締役上野 孝、佐々木信幸、西川律夫の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役勝 治信、野村哲也、卯之木 昭の3氏は社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から11月30日まで
- 定時株主総会 毎年2月に開催
- 単元株式数 1,000株
- 期末配当金受領株主確定日 11月30日
- 中間配当金受領株主確定日 5月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公 告 掲 載 U R L <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
- 証 券 コ ー ド 9720
- 上 場 証 券 取 引 所 ジャスダック証券取引所

(ご注意)

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

【株券電子化実施に伴うお知らせ】

特別口座について

1. 特別口座の開設

株券電子化施行（平成21年1月5日）前に、証券会社を通じて証券保管振替機構（ほふり）に預託されなかった株式につきましては、株主様の権利を保全するための口座（特別口座）を、平成21年1月26日（月）に、三菱UFJ信託銀行に開設しております。

2. 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き（株主様ご本人名義の証券会社口座への振替請求・単元未満株式買取請求・住所変更・配当金の振込先指定等）は、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国各支店でもお取次ぎいたします。

3. 特別口座の口座管理機関及び連絡先

特別口座の口座管理機関は、三菱UFJ信託銀行となっております。

口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中区山下町10番地

TEL 045-681-1841 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>